

第4回(後半)・骨材試験

1. ふるい分け試験 (JIS A 1102)

(1) 細骨材 (10mm 網ふるいを全部通り, 5mm 網ふるいを質量で 85%以上通る骨材) と粗骨材 (5mm 網ふるいに質量で 85%以上とどまる骨材) のふるい分け試験を行い, 粗粒率を計算する。

(2) 建築用普通骨材の標準粒度 (JIS A 5308) と本ふるい分け試験より得られた結果をテキスト図 2.2.1 のように示して比較せよ。細骨材と粗骨材の結果を一つの図中に示すこと。

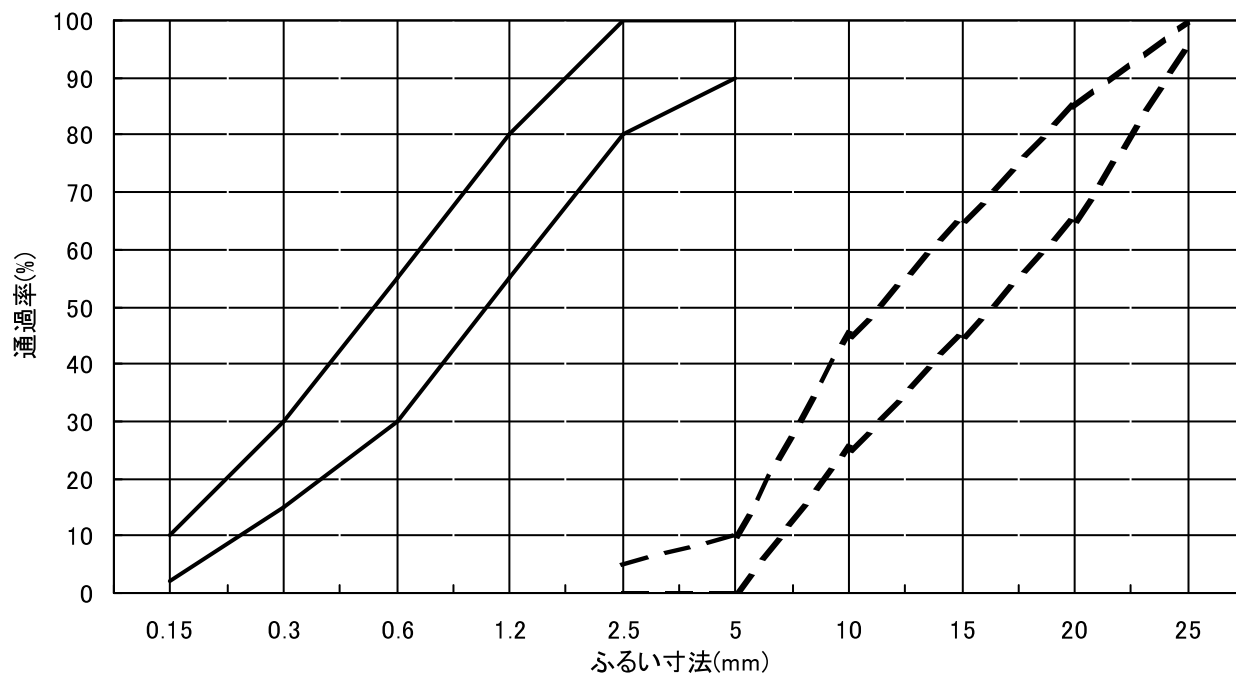
2. 細骨材の表面水量の試験 (JIS A 1111)

ただし, 本実験では JIS の方法は採用せず, 添付書類の「B. メスシリンダーによる砂の表面水率試験方法」に従って実施する。細骨材の表面水率を求めよ。ただし, 算出に必要な図, 表, 式などを適宜示して算出根拠も同時に説明すること。

1.(1)ふるい分け試験結果:下に示す表を実験結果に従って完成させよ。

ふるい	細骨材				粗骨材			
	残留分重量 (g)	残留率 (%)	累加残留率 (%)	通過率 (%)	残留分重量 (g)	残留率 (%)	累加残留率 (%)	通過率 (%)
25mm	0	0	0	100				
20mm*	0	0	0	100				
15mm	0	0	0	100				
10mm*	0	0	0	100				
5mm*	0	0	0	100				
2.5mm*								
1.2mm*								
0.6mm*								
0.3mm*								
0.15mm*								
受皿								

1. (2) 建築用普通骨材の標準粒度: 細骨材と粗骨材の結果を一つの図中に示すこと。



2. (1) 細骨材の表面水量表

試料質量 (g)	0	400	500	600	湿润試料
水上面の読み (ml)	400				
砂上面の読み (ml)	0				

2.(2)グラフ:実験値プロット, 直線の説明等を記入すること。

